

## 令和 7 年度生駒市防災倉庫購入仕様書

この仕様書は、防災用備蓄倉庫の購入に関するものであり、以下に定める仕様を満たすものとする。

### 1. 購入する物品及び数量

物品	防災倉庫①	数量：1 台	【参考製品：ヨド物置エルモ LMD-2918H】
	防災倉庫②	数量：3 台	【参考製品：ヨド物置エルモ LMD-3618H】
	防災倉庫③	数量：6 台	【参考製品：ヨド物置エルモ LMD-3625H】

### 2. 設置場所 生駒市内小中学校 10 カ所（詳細は別紙 1 のとおり）

### 3. 納入期限 契約締結日から令和 8 年 3 月 31 日

### 4. 本体の構成、規格

#### 防災倉庫① 【参考製品：ヨド物置エルモ LMD-2918H】

##### ア 構造

平屋建て

##### イ サイズ

間口：幅 約 2920mm×奥行 約 1870mm×高さ 約 2400mm

開口寸法：幅 1284mm 高さ 2154mm程度

##### ウ 文字入れ

扉に「市章 生駒市 防災倉庫」とカッティングシートで文字加工貼付を行うこと（別紙 2 参照）

##### エ 基礎工事

別紙 3 を参照とし、建築基準法施行令第 38 条に則した構造耐力上安全な仕様とすること

##### オ その他

耐水及び耐腐食性を有すること

**防災倉庫②【参考製品：ヨド物置エルモ LMD-3618H】**

ア 構造

平屋建て

イ サイズ

間口：幅 約 3620mm×奥行 約 1870mm×高さ 約 2400mm

開口寸法：幅 1284mm 高さ 2154mm程度

ウ 文字入れ

扉に「市章 生駒市 防災倉庫」とカッティングシートで文字加工貼付を行うこと(別紙 2 参照)

エ 基礎工事

別紙 3 を参照とし、建築基準法施行令第 38 条に則した構造耐力上安全な仕様とすること

オ その他

耐水及び耐腐食性を有すること

**防災倉庫③【参考製品：ヨド物置エルモ LMD-3625H】**

ア 構造

平屋建て

イ サイズ

間口：幅 約 3620mm×奥行 約 2570mm×高さ 約 2400mm程度

開口寸法：幅 1284mm 高さ 2154mm程度

ウ 文字入れ

扉に「市章 生駒市 防災倉庫」とカッティングシートで文字加工貼付を行うこと(別紙 2 参照)

エ 基礎工事

別紙 3 を参照とし、建築基準法施行令第 38 条に則した構造耐力上安全な仕様とすること

オ その他

耐水及び耐腐食性を有すること

5. 一般事項

(ア) 契約金額は、上記 4. 本体の構成、規格に関する金額をすべて含めること。

(イ) 設置・運搬・産業廃棄物の処分等に係る費用は、全て受注者の負担によるものとする。

(ウ) 納入に先立ち市担当者と打ち合わせを行い、必要書類を提出する。

(エ) 安全管理には十分注意すること。

(オ) 設置先の構造物等に対し十分注意を払い必要に応じ養生等を行うこと。また、構造物等を破損した場合には、納入業者の責において、速やかに原状復帰をすること。

(カ) 詳細な設置位置については市担当者と打ち合わせを行い決定すること。

(キ) 本仕様書に定めのない事項で、疑義が生じた場合は、当事者間で協議、調整等を行い決定するものとする。

6. 設置作業等に関する事項

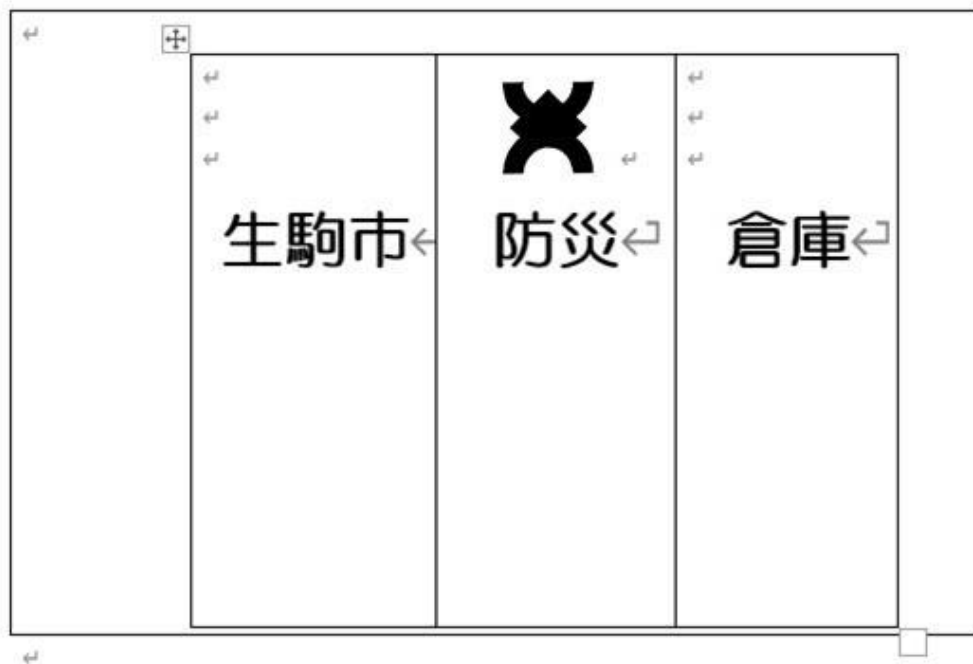
- ア 設置にかかる工事の施工時間は平日、土日の 9 時から 17 時までの間とする。
- イ 設置作業を行う際は、設置場所周辺に通行人等がないことを確認し、十分に注意した上で、設置作業を行うこと。
- ウ 設置作業日時については、発注者及び施設管理者等と十分に協議したうえで、決定し厳守すること。

# 設置場所一覧

別紙 1

設置場所	設置する倉庫	設置場所地盤（下地）
① 生駒北小中学校	倉庫③	コンクリート
② あすか野小学校	倉庫③	土
③ 生駒台小学校	倉庫③	土
④ 俵口小学校	倉庫②	コンクリート
⑤ 生駒中学校	倉庫②	土
⑥ 桜ヶ丘小学校	倉庫③	土
⑦ 生駒小学校	倉庫③	土
⑧ 生駒東小学校	倉庫②	コンクリート/土
⑨ 緑ヶ丘中学校	倉庫①	土
⑩ 生駒南第二小学校	倉庫③	土

## 文字入れ仕様

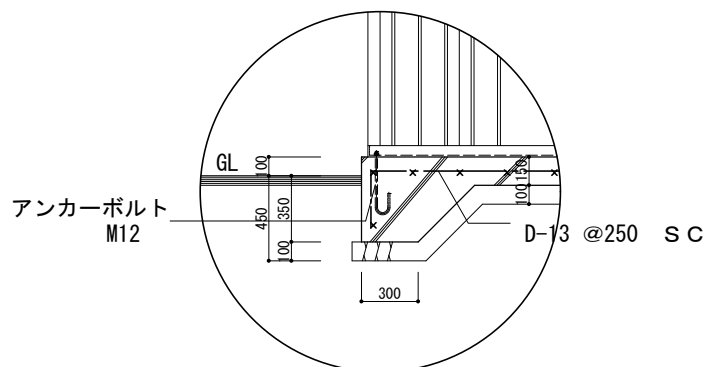


- 1、サイズ：市章・文字ともに縦 200mm×横 200mm
- 2、字体：丸ゴシック
- 3、カラー：市章・文字ともに黒
- 4、材質：塩化ビニール素材
- 5、耐候性が 5 年以上あること

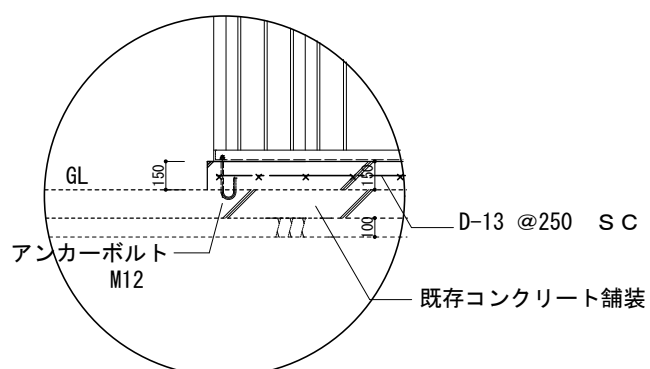
(参考品：3M スコッチカルフィルム J シリーズ SC501)

## 今回新設コンクリート製基礎 詳細図

【既存面が土、AS舗装の場合】



【既存面がコンクリート装の場合】



## ※ 注 意 事 項

- ・コンクリートはN18-15を基準とし、構造体温度補正値を考慮すること
- ・砕石は再生砕石とする
- ・既存の床仕上げがアスファルト舗装は撤去して基礎を新設すること
- ・既存の床仕上げがコンクリート舗装の施設は既存のコンクリート面を目荒らし等を行い新設基礎を新設すること
- ・既存の埋設配管等に注意して施工を行うこと
- ・アンカーボルトは参考として図示しているが、防災倉庫のメーカーが構造上の安全確認ができる場合は変更しても可とする